

# 薬剤科ニュースレター 2024年7・8月合併号

No.36



## ①最近添付文書の改訂がなされた医薬品について

7月31日配信分の2024年8月 No.328 医薬品安全対策情報 (DSU) より

① ベンラファキシン塩酸塩		117 精神神経用剤	
新様式			
改訂箇所	改訂内容		
[10. 2併用注意] 一部改訂	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
	アルコール (飲酒)	本剤投与中は、飲酒を避けることが望ましい。	相互に中枢神経抑制作用を増強させる可能性がある。
[13. 過量投与] 一部改訂	市販後において、本剤の過量投与、又は他剤やアルコールを併用した本剤の過量投与が報告されている。  【症状】 主な症状として、頻脈、意識レベルの変化、散瞳、発作、嘔吐であり、心電図の変化（QT延長、脚ブロック、QRSの延長）、心室性頻脈、徐脈、低血圧、横紋筋融解症、回転性めまい、肝臓壊死、セロトニン症候群及び死亡も報告されている。		
〈参考〉			
企業報告			

イフェクサーSRカプセル (ヴィアトリス製薬)



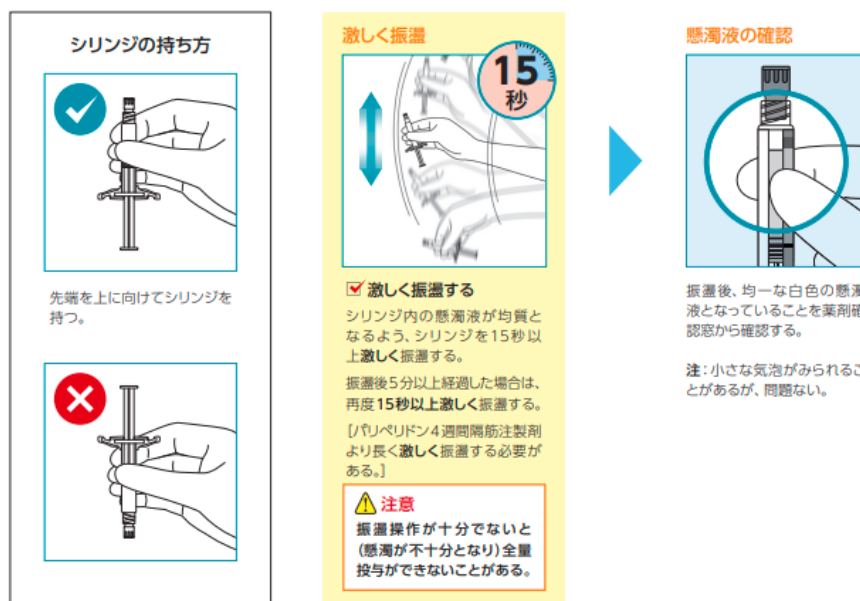
## ②医療安全院内研修会・医薬品部門が7月25日に行われました

ヤンセンファーマ株式会社のMRさんを講師に迎え7月25日にゼプリオン®注・ゼプリオン TRI®注の接種手技における注意点について研修をおこないました。

座学の後、腕・臀部の模型を用いて実際に接種の方法を試み確認していただきました。注射の準備から接種部位および投与時の注意点の確認などこぢんまりとした中でも有意義な研修・実習となりました。

特に、注射の準備段階でのシリンジを保持して振とうする際の注意事項は、ゼプリオン®注とゼプリオン TRI®注とは向きが逆であることを注意が必要であることをりかいていただきました。

ゼプリオン®注・ゼプリオン TRI®注どちらもシリンジの先端を上に向けて保持し振とうすれば間違いありません。



### ③出荷制限されている薬剤が未だ存在しております

当院で汎用されている薬品のうち、ドグマチール細粒とニューレプテル細粒は出荷が制限・停止の状態です。

また、先日銘柄変更いたしました、オランザピン細粒はその需要量の少なさから製造販売中止されるメーカーが多数です。今のところは入手・保険適応できていますが、今後は先発品のジプレキサ細粒に変更することとなるかもしれません。

一つ良い知らせとしましては、ルジオミール錠 25m g が販売出荷再開されたことです。10m g 錠は未だ再開のめどがないようです。

#### ★編集後記

現在、院内採用薬品集の改訂作業を進行中です。  
新しくなりましたらお知らせいたします。



薬剤科. 野村